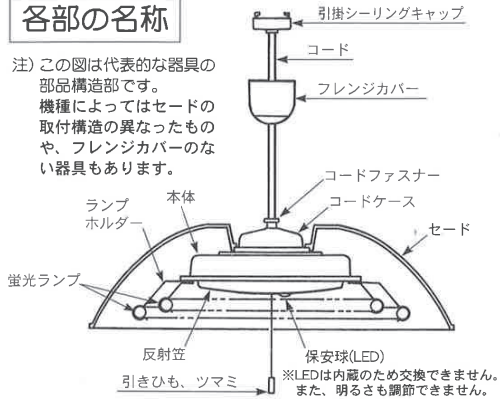


器具の取付方法

各部の名称

注) この図は代表的な器具の部品構造部です。
機種によってはセードの取付構造の異なったものや、フレンジカバーのない器具もあります。



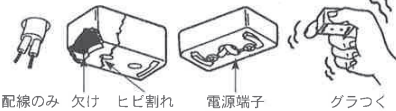
1 取付前の確認

■取付できない天井と引掛シーリングボディ

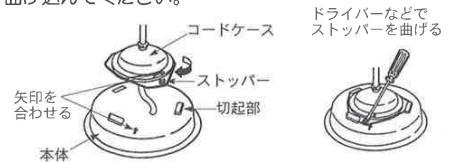
下図の場合は、電気工事が販売店に依頼してください。

**電源工事は電気工士の資格が必要です。
工事は必ず電気工事に依頼して下さい。**

- ・引掛シーリングボディが取付けられていない。
- ・引掛シーリングボディが破損している。
- ・電源端子露出型引掛シーリングボディが取付けられている。
- ・引掛シーリングボディがグラグラしている。



2 コードケースを下図のように器具本体背面の切起部3ヶ所にはめて回り止め用ストッパーを、本体の穴に曲げ込んでください。



⇒印を合わせて、3個のツバを本体の切起部に完全にはめてください。

必ず回り止め用のストッパーを本体の穴に曲げ込んでください。コードケースを左に回して外れないことを確認してください。

3 コードの長さを決めてください。

—あらかじめ天井と器具の間隔を決め、下図の要領でコードの長さを調節します。

コードの長さを調節したらコードファスナーを引き上げてコードを固定してください。



注)コードファスナーが斜めになっていると器具が傾くことがありますので、コードファスナーは水平になるように調節してください。

4 セードの取付 ※セードは機種によって異なります。

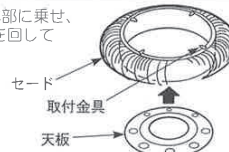
セードとセードの本体に乗る部分が一体の場合

コードをセード中央穴に通し、セードを本体にのせてください。



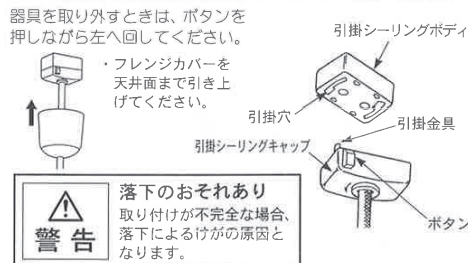
セードとセードの本体に乗る部分が分離している場合

本体に乗る部分(天板)を本体部に乗せ、セードについての取付金具を回してセードを天板の上に乗せる。



5 引掛シーリングキャップを持って天井の引掛シーリングボディへ引っ掛けてカチッと音がするまで、右に回して器具を吊り下げてください。

ボタンを押さずに左に回して引掛シーリングキャップが外れないことを確認してください。



警告 落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

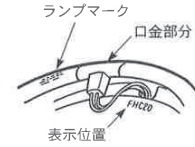
ランプ交換の方法

ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

7CKの場合

① FHC20ランプの取付

- ①FHC20ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC20ランプの口金部分は反射笠のFHC20の表示より少しずらした位置に合わせてください。
- ②ランプソケットをFHC20ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



② FHC27ランプの取付

- ①FHC27ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC27ランプの口金部分は反射笠のFHC27表示位置に合わせてください。
- ②ランプソケットをFHC27ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



ランプ交換時の注意事項

- 電源を切ってランプを反射笠に表示されているランプの種類に合わせて交換してください。
- より安全、確実にランプ交換していただくために、また清掃も兼ねて照明器具を下へ下ろしてお取り換えください。
- ランプ取付時は上図のようにランプの位置、ランプソケットのコード位置を調整してください。
- 蛍光ランプおよび保安球をランプホルダーで弾かないでください。
- 蛍光ランプの口金は多少動くように作ってありますが、無理に回さないでください。

消灯直後は高温になっていますのでご注意ください。

この器具は、FHC(高周波点灯専用環形蛍光ランプ)専用です。

9CKの場合

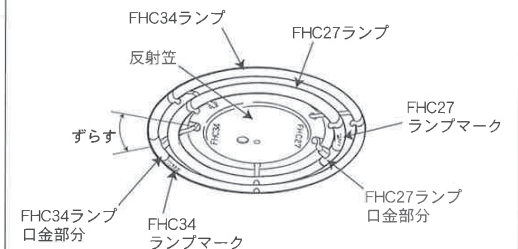
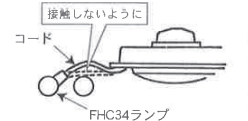
① FHC27ランプの取付

- ①FHC27ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のようにFHC27ランプの口金部分は反射笠のFHC27表示位置に合わせてください。
- ②ランプソケットをFHC27ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。



② FHC34ランプの取付

- ①FHC34ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付けます。
このとき図のように(FHC34)ランプの口金部分は反射笠の(FHC34)表示位置から少しずらして取り付けてください。
- ②ランプソケットをFHC34ランプの口金のピンに確実に差し込んでください。
- ③ランプソケットのコードが内側のランプに接触しないように調整してください。



定 格

形 式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	始動方法
20形 + 27形 (弊社形式: 7CK***)	AC100V (交流)	50Hz 60Hz	66W	FHC20 FHC27	インバータ式
27形 + 34形 (弊社形式: 9CK***)			76W	FHC27 FHC34	

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため必ず電源を切ってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・ベンジン・シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- ・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。

- ・セード等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。
- ・その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。
- ・セード(和紙及び布等)の汚れを取るときは、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
- ・木製の部分は、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
- ・照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は8年～10年です。

故障のときの処置

ご使用中に異常が生じたときは右表を参考にお調べください。
右表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC商品取扱店へご相談ください。
なおご連絡されるときは器具の形式名およびお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形式名は器具本体部に貼り付けてある器具ラベルに表示してあります。

故障の状態	主 な 原 因
蛍光ランプが点灯しない	○スイッチがオフになっている ○蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない ○蛍光ランプの寿命 ○指定ソケットへの差し違い ○電源が切れている
保安球(LED)が点灯しない	○電源が切れている

点 灯 順 序

引きひもの操作をすることで次の点灯順序となります。

2 灯 全 灯 → 2 灯調光点灯 → 保安球(LED)点灯 → 消 灯

- 壁スイッチのみで使用する場合は、時々、引きひも(プルスイッチ)での操作を行ってください。
長期間、引きひもでの操作を行なわないと、スイッチの接点が酸化し接触抵抗が高くなり熱を持ちますので故障することがあります。
- 壁スイッチにパロットランプ付きスイッチを使用されている場合は、壁スイッチをオフにしても保安球(LED)が少し光る場合がありますが、故障ではありません。その場合は、引きひもでの操作で消灯させてください。